

無石綿

NSらくらくリキッド

モルタル流動化混和液

NSらくらくリキッドは、現場調合モルタルに添加することにより、流動性を付与し、こて押え作業を軽減することができる画期的な混和液です。また、液状のため、練混ぜ作業が容易にできます。

特長

- NSらくらくリキッド混入モルタルは、流動性に優れているため、室内床だけでなく、パイプシャフト室等の狭くてモルタルが押えにくい場所にも適しています。
- NSらくらくリキッド混入モルタルは、モルタルのこて押え作業を軽減でき、省力化がはかれます。
- 液状のため取り扱いが簡単で、現場で調合する際の作業時間を短縮することができます。
- NSらくらくリキッド混入モルタルの施工は、既存の設備で対応できるため、床下地材の施工コストを抑えることができます。

標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	標準塗厚	標準施工面積
0.73kg/ ポリ袋 12袋/箱	内部床	コンクリート、 PC板、 モルタル	フローリング、 カーペット、二重床 Pタイル*1、長尺シート*1	NSらくらくリキッド 0.73kg セメント 25kg 左官用砂 50kg 清水 12~13 ^②	10~30mm*3	約2m ² (20mm厚)

注) *1: Pタイル・長尺シート仕上げをおこなう場合、事前に試し塗りにより表面精度を確認してください。

*2: セメントや砂の品質により加水量が変わりますので、清水の量は、SLフロー値190~210mmの範囲になるように調整してください。

*3: NSらくらくリキッド混入モルタルの施工厚みは、使用する砂の大きさにより変わります。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください

性能

試験項目	参考値	試験方法	
フロー値(cm)【SLフロー値】	20.3	JASS 15M-103 (セメント系セルフレベリング材の品質規準)による	
凝結時間(時間-分)	始発		6-35
	終結		9-25
圧縮強度(N/mm ²)	27.6		
下地接着強度(N/mm ²)	1.8		
表面接着強度(N/mm ²)	0.8		
長さ変化(%)	0.09		
耐衝撃性	割れおよびはがれはなし		

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)中央研究所

※NSらくらくリキッド混入モルタルの物性は使用するセメントや砂の品質により変わります。

施工法

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、真空掃除機等で清掃してください。

*気泡発生および接着不良による浮きの原因となりますので、特に雨打たれ部分等のぜい弱部は、ポリッシャー等を用いて完全に除去してください。

*NSらくらくリキッド混入モルタルは僅かな隙間からでも漏れやすいため、漏出のおそれがある箇所はモルタル等でシールしてください。

下地処理 (プライマー塗布)

NSらくらくリキッド混入モルタルの施工前日までに、施工面にNS高性能プライマー-SL用の5倍希釈液(NS高性能プライマー-SL用1:清水4)を左官刷毛等で2回塗布(合計300g/m²)してください。1回目塗布後、NS高性能プライマー-SL用が乳白色から透明になったことを確認し2回目を塗布してください。

*1回目と2回目の塗布間隔は、夏季1~2時間以上、冬季3~5時間以上が目安です。ただし、乾燥後できるだけ早い時期に2回目の塗布をおこなうか、埃等の付着がないよう養生してください。

*安定した気泡抑止効果が得られないおそれがあるため、ゴムレイキ、スプレー等による塗布は避けてください。

*塗布後、長期間放置し埃等が付着すると、接着力が低下し浮きのおそれがあるため、埃等の付着がないよう養生してください。

練混ぜ

①モルタルミキサーにセメント25kgおよび左官用砂50kgを投入し標準調合の9割程度(11~12ℓ)の清水を加え十分に練り混ぜてください。

*浮きやひび割れ、強度低下の原因となりますのでセメント:左官用砂の標準調合比を厳守してください。

*スコップで左官用砂を投入する場合、おおよそ8~9杯(スコップ1杯6kg程度)が目安となりますが、事前に質量を確認して調整してください。

*1:2セメントモルタルの水量は使用する砂により変わりますのでご注意ください。

②①で練り上がったモルタルに、NSらくらくリキッド1袋を投入して流動性を調整しながら清水約1ℓを加え、2分間程度、更に練り混ぜてください。

*流動性の範囲はSLフロー値で190~210mmです。この範囲を外れると材料分離を起こし、所定の強度が得られない場合がありますので、必ずSLフロー値を確認してください。

打設

NSらくらくリキッドを部屋の隅から順に拡げるように打設しながら、レベルに合わせて土間ごとで軽く均してください。打継ぎは打設後15分以内を目安とし、塗厚を調整しながら平滑に均してください。

*NSらくらくリキッド混入モルタル製造後、1.5時間までを目安として打設を終了してください。夏季は可使時間が短くなるのでフロー低下に注意してください。

*仕上がり制度が悪くなるので、打設後15分以上経過しての手直しは避けてください。

養生

施工終了後24時間(冬季は48時間)は、直射日光、急激な乾燥、振動、衝撃等を避けてください。また、仕上材施工までの養生期間は10日(冬季は14日)以上とし、硬化後は通気養生をおこなってください。

*施工翌日(冬季は2~3日後)には軽歩行が可能ですが、床表面は特に傷つきやすいので、十分注意してください。

*仕上材を施工する場合、十分に乾燥していること(目安は含水率8%以下)を確認してください。

*仕上材施工までの工程間隔が1ヶ月以上かかる場合は、養生シート、合板等で養生してください。

留意点

①NSらくらくリキッドは使用するセメントや砂の品質により、加水量や流動性、硬化後の表面の仕上がり等が変わります。

*本施工前に試験施工による事前のご確認をお勧めいたします。

②NSらくらくリキッド混入モルタルの施工厚みは使用する砂の大きさにより変わります。

③NSらくらくリキッドは、これまでのモルタルのこて押えの手間を大幅に軽減するために開発した製品で、SL材と同じものではありません。

*その他詳細は、弊社にお問合せください

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1002023
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



使用上の注意

■気温が5℃以下になる場合には、施工を避けてください。

■練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。

■使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。

■製品は製造年月日を確認し、1年以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル ☎ 0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。